

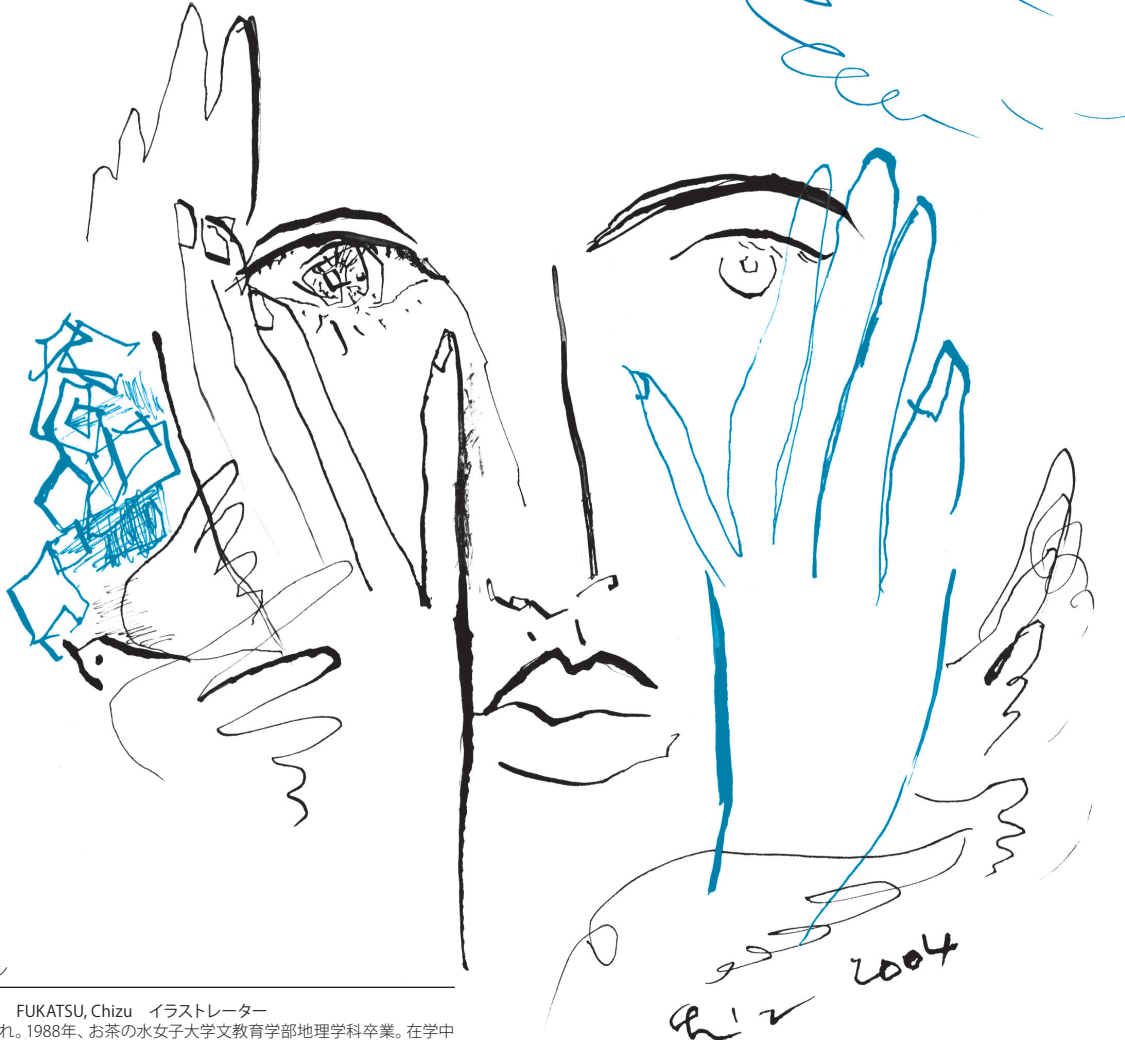
ellipse

[エリプス]

TOPICS

「オールお茶の水」の象徴として ～正門の復元改修工事～

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

事業報告 (共催講演会)

桜蔭会埼玉支部講演会「これから 女子の生きる道
— ネオリベ時代をどう生きるか?—」(講師:上野 千鶴子 氏)

事業報告 (助成金事業)

orange voice トークセッション「誰が子どもたちの未来
を明るくできるのか?」(中曽根 陽子 氏 × 岡本 京子 氏)

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ

「オールお茶の水」の象徴として ～正門の復元改修工事～

春日通りに面した正門から両脇に続く銀杏並木、そのつきあたりにキンモクセイと大学本館—平成 29（2017）年夏、お茶の水女子大学の顔ともいえるこの風景がイメージチェンジしました。国の登録有形文化財でもある正門が、大塚の地に移転してきた当時の姿に復元されたのです。



9月7日に行われた正門の除幕式

大学キャンパスマスタープラン 2016

お茶の水女子大学は、「学が意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する」という理念や教育研究及び社会貢献等における目標を具現化するため、魅力あるキャンパスづくりに努めています。

平成 25 年には、法人化以前の施設長期計画に替わるものとして、初めて「キャンパスマスタープラン」を作成し、建物及び設備の耐震改修整備、老朽改善整備など、安全・安心面の強化に着手しました。そして平成 27 年度に耐震化が完了したことを受け、昨年、プランの抜本的な見直しを行い、「大学キャンパスマスタープラン 2016」を策定しました。新しいガイドラインは 6 つの基本方針に基づき、後世に遺すべき歴史的建造物を保存・活用しつつ、グローバルかつ幅広い世代に対応するキャンパス環境の実現を目指す内容となっています（表 1）。

表1：キャンパス計画の基本方針

I) 国際的な教育研究機能の発展
II) 産学官連携の強化と地域貢献の推進
III) 幅広い世代の女性の学びを支援するための環境づくり
IV) 歴史と伝統の継承
V) 0歳から高齢者まで安全・安心な教育研究環境の確保
VI) 地球環境に配慮した教育研究環境の実現

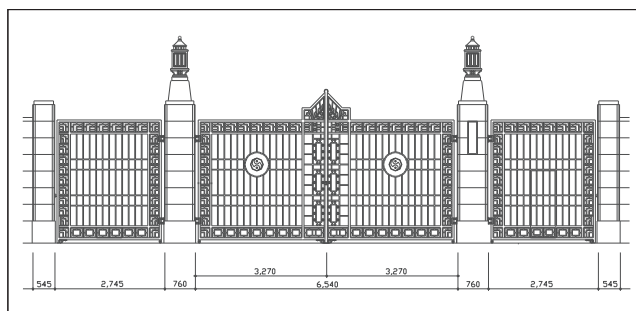
お茶の水女子大学の歴史的建造物としては、大学本館と大学講堂（昭和7年竣工）、附属幼稚園園舎（昭和6年竣工）、正門（昭和11年竣工）が、平成20年に国の登録有形文化財に登録されました。これらのうち、大学本館と大学講堂は平成15～18年度に、附属幼稚園園舎は平成25年度に、保存再生整備が完了しています。そこで、キャンパスマスタープラン2016には、「歴史と伝統の継承につながり、キャンパスに象徴的なエントランス空間を生み出すことが期待される」として、正門の「復元」が盛り込まれました。

正門の変遷

お茶の水女子大学の前身である東京女子師範学校は、明治8（1875）年に文京区湯島の地に開学しました。しかし、大正12（1923）年の関東大震災で校舎を焼失したため、昭和3（1928）年に文部省より新たに現在の大塚の敷地を交付され、移転しました。新校舎の設計は文部省建築課が担当しました。

昭和11年6月に竣工した正門は、鉄筋コンクリートの表面に万成石（まんなりいし、花崗岩）が張られた一対の門柱とその両脇の塀で構成されています。門柱は一辺76cm、高さ4.1m。塀の高さは3.2m。門柱の上には高さ1mの門柱灯が取り付けられています。

門扉は鉄製でしたが、戦時中の金属供出により外され、昭和17年6月に撮影された写真では、木製のものに替わっています。昭和30年には再び鉄製の門扉が取り付けられましたが、丸パイプを使用した、竣工当時とはデザインの異なるものでした。この門扉は、平成13年に塗装改修され、60年以上にわたり使用されました。



復元改修後の大学正門扉立面図



竣工当時の正門（『落成記念写真帖』より）



復元改修後の正門



金属製の門を供出したため、木製の門が写る（昭和17年6月）



昭和30年に取り付けられた丸パイプを使用した門扉

*写真は全てお茶の水女子大学所蔵

正門復元改修工事の主な内容

平成 29 年 4 月～ 8 月 31 日にわたって実施された正門の工事は、竣工当時のデザインを再現するだけでなく、より安全に学内に入出りできるよう、門としての機能性を高めるといった側面もありました。(表 2)。

門扉の徽章は

最初の門扉には東京女子高等師範学校の徽章があしらわれていましたが、現存する写真資料の中には、徽章部分を正面から撮影したものがありません。そこで、当時の設計図面や徽章の資料を参考にしつつ復元が行われました。

9 月 7 日、文化庁・山崎秀保文化財部長等を来賓として迎え、室伏きみ子学長をはじめ関係者が一堂に会して、お祝いの式典が行われました。附属学校園の園児・児童・生徒、大学生の代表者も一緒に除幕を行うと……。



復元された門扉の徽章(平成 29 年 9 月)

この徽章については、『お茶の水女子大学百年史』に次のような説明があります。



徽章の変遷(『お茶の水女子大学百年史』P147)

大正四(一九一五)年は本校の開校満四十年、高等師範学校からの分立より満二十五年に当り、十一月二十九日の開校記念日に記念式を挙行した。(中略)

この記念式典の開催に先立つ大正二年四月十一日には、本校生徒に佩用させる徽章が新たに制定された。

本校の徽章は東京女子師範学校時代は桜花の五弁に「女子師範校」の五文字を入れた簪であったが、明治十九年からは楕円形の中に「範」の字を留めたブローチ型となり、大正二年からのものは、桜花の五弁に八咫鏡(やたのかがみ)・八尺瓊勾玉(やさかにのまがたま)を象った。この時点で国体の象徴とされてきた神器が徽章に取り入れられたのである(昭和 59 年 5 月 31 日発行『お茶の水女子大学百年史』P146-147)。

鏡は校歌「みがかずば」の歌詞にも登場し、八咫鏡(はちりょうきょう)のモチーフは、附属幼稚園・小学校・中学校・高等学校の徽章にも使用されています。

かつてのたたずまいを取り戻した正門は、歴史を物語る存在として、「オールお茶の水」の象徴として、これからも親しまれていくことでしょう。

(取材協力:お茶の水女子大学施設課 神田浩美、資料提供:お茶の水女子大学)

表 2: 大学正門復元改修の内容について 正門門扉復元完成式典パンフレットより抜粋

鉄製門扉	現存している設計図面及び写真をもとに、建設当時のデザインで意匠を復元した。
門扉の色	塗装業者により既存塗装膜を一層ずつ剥がし、竣工当時の塗装色を確認し、復元した。
既存門柱・袖壁	竣工後 81 年を経過した石面等の表面保護のため、光触媒コーティング処理を全面に施した。
点字表示	仮設点字シートから耐久性のある点字ブロックへ改修を行った。
車止め	竣工時は、正門前を路面電車が走行しており、教職員・生徒・学生等の急な飛び出しなどを防ぐため、車止めを設置する計画があったと思われる。当時の車止め石が、学内に 2 個点在していたため、それを基に新規に 6 個製作した。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の自転車と大学側からの歩行者の衝突を避けるために、車止めを復元設置した。 自動車は門扉中央を通し、歩道の点字ブロック側を走行しないようにした。 上記により、車両が大学正門から春日通り(国道 254 号線)の横断歩道に直接進入することがないように誘導できるようになった。

◆ 事業報告 共催講演会

● 桜蔭会埼玉支部講演会

「これから 女子の生きる道 — ネオリベ時代をどう生きるか? —」

講師 上野 千鶴子 氏

(東京大学名誉教授、認定NPO 法人WAN 理事長)



【開催日時】 2017年4月22日(土) 14:00~16:00

【会場】 大宮ソニック市民ホール

【主催】 桜蔭会埼玉支部

【共催】 一般社団法人桜蔭会、NPO 法人お茶の水学術事業会

【参加費】 無料

【参加人数】 173名

「上野千鶴子さんの話を聞いてみたい」という埼玉支部会員の声を担って、直接御本人にお会いしたとき「お茶大生のライフコースはどうなっていますか」と問われました。それは、当事者意識つまり自らの生き方と重ねて聞いてほしいという先生の熱意であり、女性たち全体に問題意識を広げ、共感の輪を広げてほしいというメッセージでもあったようです。



40年の歴史を刻んできた女性学とお茶大ジェンダー研究所への思いで始まった講演は、日本の「女性の地位」国際ランキングが低迷し続けている現実をまず指摘しました。国連による2016年のGGI(男女平等指数)は111位です。何故これほど低いのか、処方箋はあるのか——。

問題の一つは、女性の政策・方針決定過程への参加問題で、「202030」という数値が紹介されました。2020年までに指導的な女性の割合を30%にまで引き上げるという数値目標です。小泉内閣のときに打ちだされたもので、少数派が3割を超えれば組織文化が変わると期待される数値です。しかし、今日に至って、たとえば義務教育の教頭、校長についてみると、その目標値は「202020」と下方修正されてしまったそうです。上野さんは強調します。「まず、政治家がやるべし」と。候補者名簿の男女比など、各党でできるのに、やる気がないと憤慨しました。

もう一つの大きな問題として指摘されたのが、女性の雇用環境です。セクハラが使用者責任になるなどの前進もあり、作らない方がよかったとは今は言わないが、と前置きしつつ、派遣事業法とともに雇用機会均等法が制定された1985年こそ女性の分断元年、貧困元年だったと振り返ります。「保護か平等か」を選ばせ、「男並みに働いたら男並みに処遇してやる。いやなら使い捨てしかない」と言わんばかり

に「罰則なしの平等」を進めた結果どうなったか。正規・非正規の割合をみると、全労働者の4割が非正規、そのうち7割が女性だといえます。男性の2割、女性の6割が非正規で、非正規労働市場に新卒女子が増えるようになった現実も指摘されました。その結果所得が低くなり、これでは国際ランキングが低迷するのは当然です。

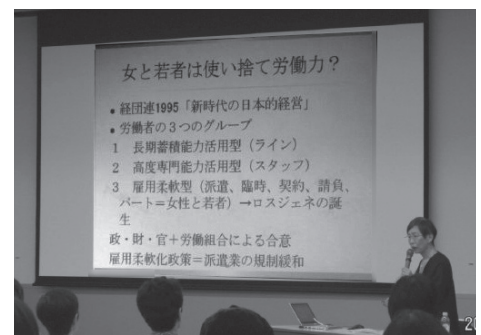


ネオリベリズムの「改革」によって、「市場万能主義」、「自己決定・自己責任」、「優勝劣敗」論が大手を振ってまかり通り、女性も男性も不満や不安にさいなまれる、生きにくい社会になりましたが、「処方箋はある」と上野さんは強調しました。雇用について言えば、労働時間の短縮、年功序列の廃止、同一労働・同一賃金の拡大です。そして、「政治は人災」と何度も繰り返しました。それは「選ぶのはあなた。このままでよいのですか。」という問いかけでした。



講演の後、早期結婚願望論や介護、フェミニズム、情報問題など多様な質問が出され、30代の参加者から「キャリアウーマンになろうとは思わないが、将来、会社にどう働きかけていけばよいのか」という質問が出されました。「組織と男は使いよう。荒野に立つよりずっとよい。怖れずに意思決定できる場に立って、ルールを変えていくこと。言うべきことを、言うべき時に言うこと。夫を変える、男を変える、職場を変える。」という上野さんの回答は、本講演会の勇気ある宣言ともなったのではないのでしょうか。

(桜蔭会埼玉支部 阿部 幸代)



◆ 事業報告 助成金事業

● orange voice トークセッション

東京の未来をデザインする #2

「誰が子どもたちの未来を明るくできるのか？」

中曽根 陽子 氏 × 岡本 京子 氏



【開催日時】2017年5月7日(日) 14:00～16:00

【会場】IID 世田谷ものづくり学校 2F スタジオ

【主催】orange voice (オレンジボイス)

【助成】NPO 法人お茶の水学術事業会

【参加費】無料

子どもたちや若い世代の人たちの前には明るい未来が開けているのか？社会の格差や物心両面での貧困が影を落としつつあるのではないのか？そんな不安を感じる今だからこそ、私たち（それぞれが別の場で子ども・教育支援に関わっている仲間）は、「こうなってほしい」という世の中を描き、持続可能な社会の在り方をトークセッションという形で問題提起する会を開催しました。



テーマは「子ども支援」「子育て世代支援」「教育」。会場の「IID 世田谷ものづくり学校」イベントスペースは、廃校になった旧池尻中学校の家庭科室として使われていた教室。語り合うテーマにピッタリな場所です。

公募による参加者は約30名。子育て世代の母親たち、現役の小学校の先生、「親子おでかけ広場」や「ひと時保育」の運営者、「こども食堂」のボランティアメンバー、公園プレイパークの管理者、若者の自殺防止の活動に取り組むミュージシャン、コミュニティスクールの運営委員、母親支援の団体主宰者、まちづくり情報紙の編集者など、多様な形で日々「子どもの現場」に携わっている方々や、社会参加に関心を持っている方々の参加を得ました。



前半は、教育ジャーナリストで、国内外の教育現場の取材や講演活動を手掛ける中曽根陽子氏のメイントーク。「民主主義先進国デンマークとオランダ」を視察しての教育現場レポートが報告されました。聞き手は世田谷で子ども食堂の運営に関わる岡本京子氏。



「社会全体で子どもを育てる」という教育への関り方が、「多様性を認める」「市民主体」の社会の在り方を可能にしているということ、《未来を創る人材を育てる》という明確なビジョンに基づいて、個々の能力や適性を伸ばすことが学校や教育制度で重視されていること等、実際のカリキュラムや教室の様子を資料として説明されました。「よい社会を望むなら、よい子ども時代が必要」という言葉に、参加者一同深くうなずきました。



「では、日本ではどうなのか？」

後半は教育視察レポートを受けての感想と、日本の現状への思いを意見交換する白熱したグループトーク。参加者全員がそれぞれの思いを言葉にすることで「場」が熱く盛り上がってきたところで、フィッシュボウルという対話方法での意見表明と討論へ移りました。輪になった参加者の中から、考えを述べたくなった人が自ら中央に歩み出て話をする対話方式で、「子どもの現場」を持つみなさんが、次々と立ち上がり、それぞれの実践体験のエピソードと提案を述べ意見交換しました。「親の無関心や過干渉に苦しむ子ども」「孤食」「多様な体験、遊びをする機会の少なさ」「孤独な子育て」…『よい子ども時代』と対極にある現状も語られましたが、主体的なまちづくり、子ども支援に取り組もうとしている方々だからこそ「子どもの明るい未来」を実現していきたいという共通の思いを受け止め合いました。



会のまとめとして、各人が今後取り組んでいきたいこと、目指す未来を言葉にしました。参加者から、学びと出会いのある意義深い会だったと感想をいただきました。この会での出会いを契機にゆるやかに連携しそれぞれの取り組みが深まっていくことが期待されます。

(orange voice 代表 小島 孝子)

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2017年夏キャンプ

- 【実施期間】** 2017年8月3日(木)～6日(日)
【開催地】 (株)ブリヂストン保養所 奥多摩園(青梅市)
【参加内訳】 小学生12名、中学生9名、高校生4名、専門学校生1名、学生ボランティアスタッフ55名(入替え有、OB/OG/看護師含む)、社会人スタッフ/協力者9名

【主な内容】

8月3日	開会式、アイスブレイク、ゆめ活取決め(仕事の分担)、学生・社会人ミーティング
8月4日	朝の勉強会、大学体験(明星大学見学・実験・講座・サークル活動)、ミーティング
8月5日	朝の勉強会、料理対決:作戦会議と試合(沢井市民センター)、音楽会、ミーティング
8月6日	閉会式、写真スライドショー、20歳のお祝い

今夏のキャンプは、小学生よりも中高生の割合が多く、自分の将来を考え始めている時期だけに、子ども達の「居場所づくり」と「夢の応援」を「軸」とした企画になりました。

1日目のアイスブレイクゲームは、ウソの紹介を見抜く「自己紹介ゲーム」から始まり、小4の新しい参加者も笑顔ですぐに打ち解けていました。「ゆめ活」は、子ども全員が4日間のキャンプで担う仕事を決めました。最終日に、成果の程をみなでフィードバックしました。

2日目の「大学体験」は、学生OBが勤務する明星大学を訪問・見学しました。そして小学生は理科実験を、中学生は学生やOB/OGによる5分野の専門講座を自由に聴講しました。学生OB/OGの周到的な準備によるプレゼンテーションは見事でした。子どもたちは集中して聴き入り、受講後は



大人っぽく見えました。学生食堂で昼食後は、体育館で明星大学の学生さんの指導で、ダブルダッチ縄跳びに挑戦。低学年の女子ほど早く上達していました。

3日目の午前中は、午後の料理対決に向けて、各グループでレシピを決め、必要な食材をメモするなど本番に備えました。社会人スタッフの車で学生が食材の購入に外出。昼食後、みな沢井市民センターの料理室に移動して、5種類の調理開始。審査委員のOB/OGや社会人スタッフは、優劣つけ難い作品群に感心しました。これを機に、子どもたちが日常の中で、自分で調理ができるよう願っています。夜の恒例の音楽会では、小学生の女子2名がしっかり司会進行を務めました。2名のピアニスト 藤原新治氏・浅野衣美氏の連弾は迫力と優雅さに溢れ、トークも楽しく、また、専門学校生の男子によるフルート演奏も披露されて、子ども達には大きな刺激になったことでしょう。



最終日の閉会式では、初期から参加の子ども達の20歳のお祝いをしました。彼は周囲の人たちにしっかり感謝の言葉を述べるなど、見違えるほど成長した姿を見せてくれました。

キャンプは全体的に落ち着いた雰囲気の下、終了することができました。これも温かく支えてくださる皆様方のおかげです。心より感謝申し上げます。また今回のキャンプの前日、高校生代表等が室伏先生とともにブリヂストン本社を表敬訪問し、活動当初からのご支援に御礼を申し上げます。

この後も、私たちは子ども達とともに温かな歩みを続けていきたいと思っております。引き続き、皆様方のご支援を賜りたく、どうかよろしくごお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

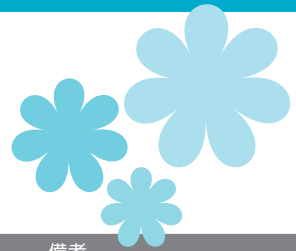
【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 Email:tsubasa@npo-ochanomizu.org

お茶の水女子大学 イベント情報



2017年11月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2017年12月まで 特別公開 11月11日(土)・ 12日(日): 徽音祭 12月2日(土)・16日(土)	お茶の水女子大学歴史資料館 企画展示 「東京女子師範学校からお茶の水女子大学へ ー所蔵資料からみる女子高等教育ー」 「附属中学校創立70周年記念特別展示」	無料	【会場】お茶の水女子大学 本館1階 歴史資料館 【詳細】 http://archives.cf.ocha.ac.jp/ 【見学申込み】歴史資料館ホームページを確認の上、希望日の2週間前までにお申し込みください。 お茶の水女子大学 図書・情報課 歴史資料館窓口 E-mail: shiryo@cc.ocha.ac.jp
2017年 11月29日(水) 15:00 ~ 17:30	アフガニスタン女子教育支援15周年記念 公開シンポジウム 「アフガニスタン女子教育: 支援の歩みと現状」 2002年に形成された「五女子大学コンソーシアム」(お茶の水、津田塾、東京女子、奈良女子、日本女子)の取り組みを振り返るとともに現状と課題に関する学びの機会とします。	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟2号館201室 【主催】国立大学法人 お茶の水女子大学 【詳細】 http://www.ocha.ac.jp/event/afghanistan2017.html 【問合せ】お茶の水女子大学グローバル協力センター E-mail: info-cwled@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5546 【申込み】11月24日(金)17時まで https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/cwed/2017/AfghanistanSympo/
2017年 12月1日(金) 18:00 ~ 20:00	東京都若者社会参加応援事業 「社会参加準備支援講座」 ひきこもり等の状態にある若者が社会参加に向かうためには、仲間と目標を共有して活動に取り組むことを通して、人や社会とつながる自信を育んでいくことが大切です。本講座では、様々なプログラムを通して社会参加への準備支援を行っている団体の取り組みを紹介します。	無料	【会場】お茶の水女子大学 生活科学部カンファレンスルーム 【主催】東京都ひきこもりサポートネット ※この事業は、お茶の水女子大学が東京都より受託しています。 【共催】お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所 【問合せ】東京都ひきこもりサポートネット事務局 Email: kouza@hikikomori-tokyo.jp TEL: 03-5978-2041
2017年 12月2日(土) 記念式典 8:30 受付 9:00 開会 記念祝賀会 12:30 受付 13:00 開会	お茶の水女子大学附属中学校 創立70周年記念式典・記念祝賀会 【記念式典】 I部: 式典 II部: シンポジウム III部: 生徒発表、記念演奏会 【記念祝賀会】立食式(会費制)	記念祝賀 会参加費: 3,000円	【会場】記念式典: 大学徽音堂 記念祝賀会: 附属中学校アリーナ 【主催】お茶の水女子大学附属中学校 【詳細】 http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/ 【問合せ】お茶の水女子大学附属中学校: 副校長 TEL: 03-5978-5865 FAX: 03-5978-5863
2017年 12月5日(火) 16:40 ~ 19:00 (予定)	国際シンポジウム "Women Taking the Lead: Women's International and Social Leadership in East and Southeast Asia" (アジアにおける女性のリーダーシップ—国際・社会組織の経験から) (仮題) 環境、防災・災害復興、ジェンダー平等、移民・難民政策、労働政策などに取り組む国内外の団体におけるリーダーシップをテーマに、日本およびアジア各国からゲストをお招きし、国際組織や社会運動における女性のリーダーシップについて、基調講演ならびにパネルディスカッションを行います。 *使用言語 日本語、英語(同時通訳あり)	無料	【会場】お茶の水女子大学 本学共通講義棟1号館101室 【主催】お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所(IGL) 【詳細】 http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html 【問合せ】IGL info-leader@cc.ocha.ac.jp 【申込み】事前申込あり *本学および附属学校生の保護者、一般の方も参加可
2017年 12月17日(日) 13:00 ~ 16:45 (予定)	人間発達教育科学研究所 平成29年度シンポジウム 「家庭の経済的不利と学齢期の子ども の諸問題(仮題)」 人間発達教育科学研究所「人間発達基礎研究部門」のこれまでの研究成果を中心に、東京学芸大学児童・生徒支援連携センターで実施中の機能強化事業の成果も交えて、学齢期の子どもを取り巻く諸問題について議論・検討します。 【発表者】浜野隆教授(お茶の水女子大学)、入江優子准教授(東京学芸大学)、菅原ますみ教授(お茶の水女子大学) 【コメントーター】耳塚寛明教授(お茶の水女子大学) 【司会】富士原紀准教授(お茶の水女子大学)	無料	【会場】お茶の水女子大学 本館306室 【主催】人間発達教育科学研究所 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/iehd/ 【問合せ】人間発達教育科学研究所事務局 E-mail: info-iehd@cc.ocha.ac.jp 【申込み】事前申込あり

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2018年 2月9日(金)	お茶の水女子大学附属幼稚園 平成29年度第2回 公開保育研究会 研究テーマ「子どもの内にある感受性を探る(2年次)」 ・保育公開、当日の保育についての研究討議 ・講師 浜口順子先生(お茶の水女子大学 基幹研究 院人間科学系 教授)	一般 1000円 (資料代)	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園 【主催】お茶の水女子大学附属幼稚園 【詳細】 http://www.fz.ocha.ac.jp/fy/info/kenkyukai.html (申込期間、参加対象等はこちらでご確認ください) 【問合せ】お茶の水女子大学附属幼稚園 Tel:03-5978-5881 【申込み】70名程度 申込多数の場合は抽選とします。詳細はHPをご覧ください
2018年 2月20日(火) 15:00~17:00	東京都ひきこもりサポートネット 活動報告会 東京都ひきこもりサポートネットでは、ひきこもりのご本人やご家族への相談事業を行っています。そうした年間の活動について報告し、またひきこもりへの理解を深め、支援について共に考える機会となるよう、シンポジウムを開催します。	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟2-102 【主催】東京都ひきこもりサポートネット ※この事業は、お茶の水女子大学が東京都より受託しています。 【共催】お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所 【問合せ】東京都ひきこもりサポートネット事務局 Email:kouza@hikikomori-tokyo.jp TEL:03-5978-2041
2018年 2月22日(木) 23日(金)	第80回 教育実際指導研究会 学びをひらく -ともに“てつがくする”子どもと教師- ・公開学習指導、学習指導についての話し合い ・課題別協議会(22日)、教科等協議会(23日) ・講演 鈴木孝夫先生(言語学者)(22日) -内田伸子先生(お茶の水女子大学名誉教授)とともに- ・講演 松下佳代先生(京都大学)(23日)	4000円 学生 2000円	【会場】お茶の水女子大学附属小学校 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会 【詳細】後日発表 【問合せ】お茶の水女子大学附属小学校 TEL:03-5978-5875 Fax:03-5978-5872 【申込み】11月下旬より小学校ホームページより事前申し込み受付予定

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 2017年度冬学期

	講座名	開講日時	講師・主な内容など
冬学期 1月	「イノベーションとアントレプレナーシップ」	2018年1月6日、13日 13:30~15:00 15:10~16:40	鹿住 倫世【専修大学 商学部 教授】 イノベーションを創出する組織のあり方とアントレプレナーシップについて、講義とケース分析、グループワークを通じて学ぶ。
	「CSRと情報開示(ステークホルダーの視点から)」	2018年1月20日、27日 13:30~15:00 15:10~16:40	達脇 恵子【有限責任監査法人トーマツ アドバイザリー事業本部 第一事業部 ERS-ERM パートナー】 今や企業にとって欠かせない活動となったCSRの歴史や最新トレンドを説明し、企業と社会の関係のあり方を考える。また、企業を取り巻くステークホルダーの視点から情報開示を考える。
冬学期 2月	「女性リーダーが使える ビジネス関連の法律」	2018年2月3日、10日、24日、 3月3日 13:30~15:00 15:10~16:40	汐崎 浩正【西村あさひ法律事務所 弁護士(パートナー)】 日常のビジネスに関係する法律や制度の知識を習得することを目的とし、可能な限り将来の法改正の方向にも触れる。

【受講料】1講座 30,000円(一般)、27,000円(本学卒業・修了生) ※消費税別

【会場】お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室

【申込期間】2017年11月28日(火)~12月12日(火) 必着 ※WEBにてお申込みいただけます。

【問合せ】お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局(水・金 10:00~17:00) TEL:03-5978-5501 E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

※ 詳細は、お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 HP (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin>) をご確認ください。

理系女性教育開発共同機構主催 リケジョ - 未来 合同シンポジウム (2017年度)

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2017年 11月11日(土) 13:00~16:30	リケジョ - 未来シンポジウム 社会で活躍中の理系女性から、理系・専門を選んだいきさつや仕事のお話が聞けます。 【講演者】黒田有彩氏(タレント)、大山喜冴氏(凸版印刷(株))、山縣淳子氏(京都産業大学)		【会場】奈良女子大学(奈良市北魚屋東町) 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生 【詳細】機構HPにて順次公開 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/
2017年 12月16日(土) 14:00~17:00	リケジョ - 未来シンポジウム @Ibaraki なぜ理系を選んだか、理系を選んで何がよかったか、大学での学びがどのように役立っているか。将来に向けてのヒントがあります。 【講演者】鶴澤美穂子氏(茨城県自然博物館) 他		【会場】駿優教育会館(茨城県水戸市三の丸1丁目1-42) 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生 【詳細】機構HPにて順次公開 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/

【問合せ】理系女性研究開発共同機構

E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp TEL:03-5978-5825 FAX:03-5978-2650

お茶の水女子大学 第68回微音祭

2017年11月11日(土)12日(日)

今年度微音祭のテーマ
TEA PARTY KIIN wonderland

この言葉には微音祭公式マスコットキャラクターのきいちゃんとお茶大の二つの意味があります。いつもと違うお茶大を見て、皆様楽しんでいただきたいという想いが込められています。

幅広い世代の方が楽しめる

毎年恒例、お茶大生が憧れるお茶大生No.1決定戦の「水コン」やハンサムウーマンNo.1決定戦の「お茶バラ」だけでなく、新企画・歌うまコンテストの「微音座の歌姫」豪華芸能人ゲストによるトークショーなど充実したステージ企画や、受験生に大人気、受験生相談室、キャンパスツアー&模擬授業、地域の皆様とのコラボ企画、無料指圧体験や緑日、代々受け継がれた秘伝のお茶大グルメを堪能できる模擬店、など老若男女問わずお楽しみいただける企画をご用意しております。

Information
微音祭当日の詳細
きいちゃんのオリジナルグッズ販売

公式 twitter @kiin2017
公式 facebook

「お茶の水女子大学 微音祭」で検索
右のQRコードからアクセス可。
URL: <http://kiinsai.sakura.ne.jp>

お茶の水学術事業会 共催講演会のご案内

お茶の水地理学会講演会

信州遠山郷 - 秘境の昨日今日明日 -

【講師】磯前睦子氏 (昭53地)
【日時】12月2日(土) 14:00~16:00
【会場】お茶の水女子大学 本館 306

申込み: 葉書・Emailのいずれかで、下記まで氏名・卒年・卒業学科・住所・電話番号・を必ず記入のうえ、お申し込みください。
〒112-8790 文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学文教育学部地理学コース内 お茶の水地理学会
Email: chiriog@yahoo.co.jp
締切り: 11月20日(月)

みなさまのご参加をお待ちしております。
入場無料・要予約 一般公開、先着50名

2018年度共催講演会・助成金事業の募集について

【対象となる事業期間】2018年4月1日~2019年3月31日
【応募受付期間】 第一次: 2017年10月1日~11月30日
第二次: 2018年4月1日~5月31日

【詳細】HP「共催・助成金」をご覧ください。
<http://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>
【お問合せ】お茶の水学術事業会事務局
Email: info@npo-ochanomizu.org
TEL: 03-5976-1478 (月~金 10:00~16:00)

つかえる、つながる
お茶大グッズ
<http://www.ocha.ac.jp/goods/>

お茶大のオリジナルグッズは、お茶大ゴルフ、一筆箋だけではありません。食品、文房具、雑貨など30種類近くがあります。中には、企画提案の段階からお茶大生や卒業生がプロデュースしたのもや企業とのコラボ商品も。

2017年11月には待望の新商品が登場!

ブランケット

ネイビー (ステッチあり) 1,200円 (予定)
グレー (光沢あり) 1,500円 (予定)
これからの季節に嬉しい“あったかグッズ”
「OCHANOMIZU UNIVERSITY」のロゴ入り

ペンケース

白、ロゴの色はピンクとブラック
の2色 各350円
※価格はすべて税込み

OCHAMAP シリーズ

2017年3月に登場したお茶大「地理女子」と地図の会社「ZENRIN」のコラボ商品。お茶大周辺の地図をデザインしたクリアファイル(158円)とA5ノート(270円)とメモパッド(350円)の3アイテム!それぞれ現代編(ピンク)と過去編(グリーン)の2色展開です。地理女子の皆さんが手書きした「地理的スポット紹介」は可愛らしくて読みごたえがあります!

Ms.Ocha シリーズ

「卒業生と母校の絆を育み、卒業生同士もつながるきっかけとなるアイテムを、さまざまなライフスタイルに合わせて提供する」をコンセプトに作成されたエコバッグ(800円)、ハンドタオル(500)円など

※送料はお客様負担となります。
※商品の発送は代金の振込後となりますのでお手元に届くまでに10日前後お時間がかかります。お急ぎの場合はお電話にてご相談ください。

【販売・お問合せ】お茶の水女子大学生協 購買書籍部 <https://www.univcoop.jp/ocha>
ご注文はお電話かメールで TEL 03-3947-9449 E-mail ochacoop@cc.ocha.ac.jp

編集後記

門柱の表札には何と書かれているのでしょうか?と問われても咄嗟には答えられないほど無意識に通っていた正門について学び機会をいただきました(正解は「お茶の水女子大学」です)。場の象徴であり、空間を隔てる境界でもある門は、様々な人々の思いが行き交うところ。大学受験の日、「もう一度、この門をくぐらせてください」と祈りながら帰路についたことを今でも覚えています。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は2018年2月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月~金 10:00~16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>
※会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ